

2011年3月期決算説明資料

2011年5月
小野建株式会社

CONTENTS

- I. 2011年3月期決算の概況
- II. 東日本大震災の影響について
- III. 連結損益計算書、連結販管費、連結貸借対照表
- IV. 品種別販売状況、2012年3月期の見通し

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2011年3月期総括①前期および上期・下期の差異

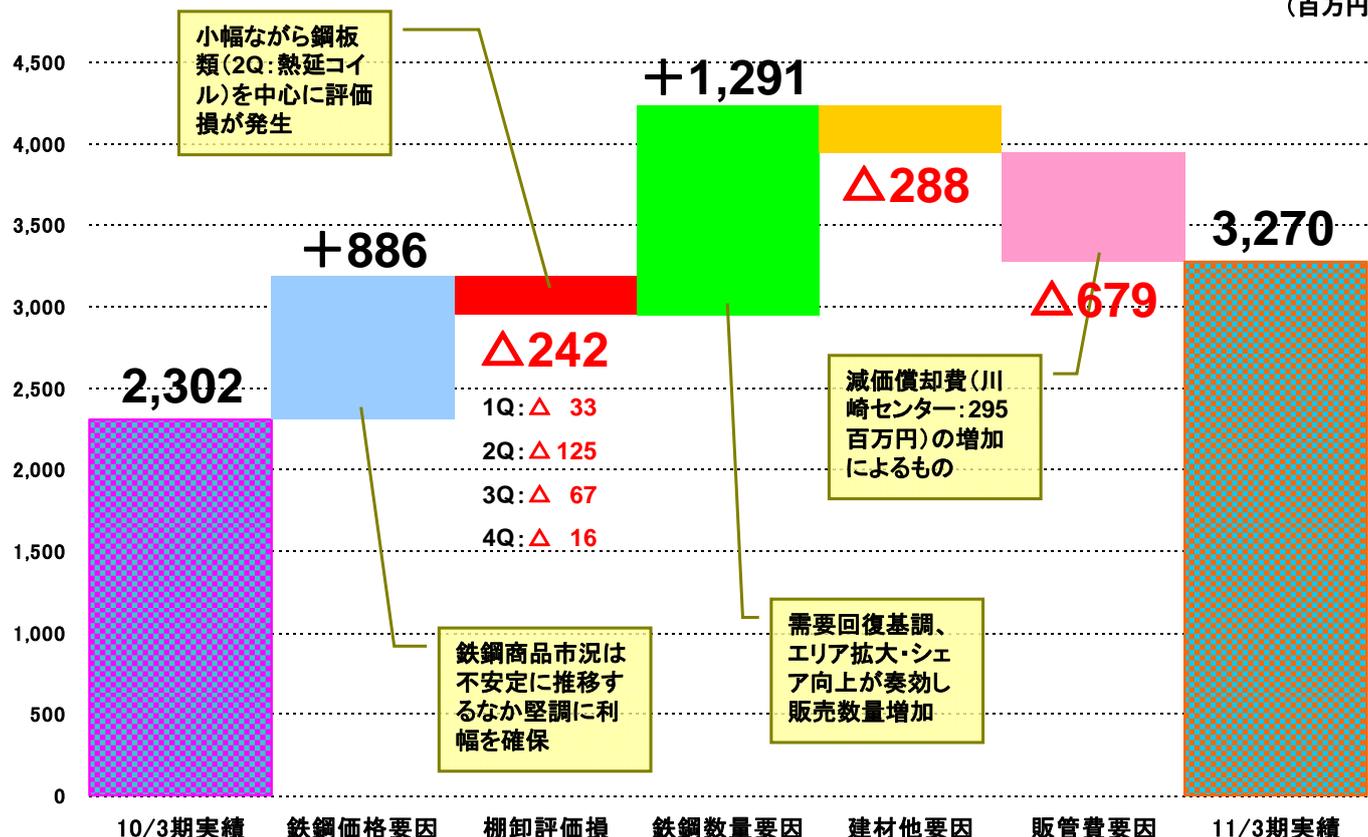
- 需要が底堅く推移するなか販売数量の増加を達成し、鉄鋼市況の変化に柔軟に対応することで増収増益

(百万円)

	2010/3期 通期実績	2011/3期		2011/3期 通期実績	2012/3期 通期計画
		上期実績	下期実績		
売上高	116,074	61,766	71,954	133,720	137,055
売上総利益	8,891	5,009	5,529	10,538	11,060
営業利益	2,302	1,607	1,663	3,270	3,457
経常利益	2,492	1,695	1,757	3,452	3,538
当期純利益	1,277	1,123	1,037	2,160	2,090

2011年3月期総括②営業利益/前年同期比変化要因

(百万円)



東日本大震災の影響について①

• 震災直後の状況

- 仙台支店
 - 倉庫および事務所の建屋被害は軽微ながら、荷崩れなどにより在庫商品に相当量のダメージを受け、停電が続いたことにより入出荷不能の状態へ
- 八戸営業所
 - 沿岸部に賃借している在庫ヤードが津波被害を受け、約3mの高さで海水が流入、在庫商品は全損状態に近い被害を受ける
- 東京支店浦安センター
 - 若干の荷崩れ等は発生したものの、浦安地区で起こった液状化現象も倉庫内では起きておらず、倉庫建屋・在庫商品ともに大きなダメージはなし
- 東京支店川崎センター
 - 新設のレベラー設備も含め、浦安と同じく大きなダメージはなし

東日本大震災の影響について②

• 震災後から現在の状況

- 仙台支店
 - 4月4日に仙台支店周辺への送電が再開され、入出荷作業を再開
- 八戸営業所
 - 賃借ヤード内の在庫のうち、半数以上の在庫の入替を完了
- 浦安センター、川崎センター
 - 仙台および八戸の顧客向けに在庫出荷を行うなど、東日本エリアのマザーヤードとしてバックアップ体制を取る

• 販売状況

- 震災直後から仮設住宅など早期の復旧工事向け材料の一部を、九州も含めた各事業所にて受注
- ただし、設備復興工事向け案件の引き合いは、現段階では設計・積算中のものが多く、実際の発注まで至る案件はまだ少ない状況
- 本格的な復興需要は秋以降を見込む

連結損益計算書

● 特別利益

- － 固定資産売却益(348百万円) 賃貸用土地・建物
 - 大分土地:193百万円、広島土地・建物:154百万円
- － 受取保険金(138百万円) 三協則武鋼業分

● 特別損失

- － 投資有価証券評価損(16百万円)
- － 役員退職慰労金(56百万円) 三協則武鋼業分
- － 資産除去債務(40百万円) スレート倉庫分(アスベスト)
- － 災害による損失(176百万円) 仙台・八戸の在庫評価損

※倉庫建物の修繕費用は概算で32百万円程度

連結損益計算書

(百万円)

	10/3実績	11/3実績	12/3上期計画	12/3下期計画	12/3通期計画
売上高	116,074	133,720	66,455	70,600	137,055
売上原価	107,182	123,181	61,006	64,989	125,995
売上総利益	8,891	10,538	5,450	5,610	11,060
販売費及び一般管理費	6,589	7,268	3,782	3,703	7,485
営業利益	2,302	3,270	1,668	1,789	3,457
営業外収益	274	268	94	85	179
営業外費用	84	86	47	51	98
経常利益	2,492	3,452	1,715	1,823	3,538
特別利益	18	487	—	—	—
特別損失	92	297	—	—	—
税引前当期純利益	2,418	3,643	1,715	1,823	3,538
法人税・住民税及び事業税	1,142	1,428	703	733	1,436
当期純利益	1,277	2,160	1,006	1,084	2,090

連結販売管理費・設備投資・減価償却費

- 販売費および一般管理費
 - － 販売数量増加にともない運賃が上昇するものの、大幅な変化はない
- 設備投資
 - － 川崎センター建築(2010年6月完成)
 - 総投資額73億円/土地代も含む
- 事業所開設
 - － 2010年9月 沖縄支店から発展、小野建沖縄(株)を設立
 - － 2011年1月 石川県に北陸出張所を開設
 - － 2011年4月 滋賀県に滋賀営業所を開設

連結販売管理費・設備投資・減価償却費

	10/3実績	11/3計画	11/3実績	12/3計画
	(百万円)			
販売費及び一般管理費	6,589	7,383	7,268	7,485
運賃	2,189	2,428	2,253	2,538
貸倒引当金繰入額	121	300	198	300
貸倒損失	—	—	—	—
人件費	2,459	2,527	2,632	2,615
租税公課	221	304	282	233
のれん償却額	95	103	108	108
設備投資	4,017	2,500	3,998	200
川崎センター建築	1,633	1,967	2,211	—
沖縄ヤード土地・建築	398	39	—	—
長崎支店建築(事務所)	117	—	—	—
西日本SC新レベラー	1,655	265	40	—
減価償却費	723	1,196	1,088	1,100

連結貸借対照表

- 受取手形及び売掛金・支払手形及び買掛金
 - － 売上高・仕入高の上昇にともなうもの、今後も売上規模により変化
- 商品及び製品、原材料及び貯蔵品
 - － 数量:118千t・単価:60円/kg(10/3)
 - 数量:147千t・単価:66円/kg(10/9)
 - 数量:143千t・単価:67円/kg(11/3)
- 短期借入金
 - － 設備投資分の支払完了にともない、今後は在庫見合いの運転資金として一定水準で推移

連結貸借対照表

※各詳細項目は主要項目のみを記載しております(百万円)

	10/3実績	10/9実績	11/3実績
流動資産	47,774	54,411	59,295
現金及び預金	1,409	1,376	1,288
受取手形及び売掛金	36,250	39,109	45,517
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	7,850	10,851	10,603
固定資産	32,317	33,734	32,976
有形固定資産	30,267	31,835	31,231
投資その他の資産	1,509	1,387	1,309
資産合計	80,092	88,146	92,272
流動負債	34,560	42,126	45,642
支払手形及び買掛金	23,929	25,459	27,237
短期借入金	7,015	13,600	15,800
一年以内返済予定長期借入	575	300	79
固定負債	1,712	1,522	1,325
社債	100	100	—
長期借入金	152	102	72
負債合計	36,273	43,648	46,968
株主資本	43,556	44,368	45,094
資本金	3,780	3,780	3,780
純資産合計	43,818	44,498	45,303
負債・純資産合計	80,092	88,146	92,272

品種別販売状況(小野建単体)

(百万円・千トン)

		10/3実績	11/3実績	12/3上期計画	12/3下期計画	12/3通期計画
鉄鋼・建材 商品販売事業	鋼板類	27,084	36,325	17,205	16,404	33,609
	(販売数量)	394	503	231	221	452
	売上総利益	2,094	2,563	1,298	1,255	2,553
	条鋼類	31,230	36,267	18,641	18,743	37,384
	(販売数量)	368	414	209	210	419
	売上総利益	2,666	3,685	1,749	1,756	3,505
	丸鋼類	17,488	20,804	10,889	11,754	22,643
	(販売数量)	272	323	165	178	343
	売上総利益	1,038	1,038	601	650	1,251
	建設機材商品	12,238	12,382	5,704	6,744	12,448
売上総利益	608	592	294	344	638	
工事請負事業	建設機材工事	18,573	17,611	8,524	10,649	19,173
	売上総利益	948	740	443	565	1,008
不動産 賃貸等事業	その他事業収入	754	695	301	299	600
	売上総利益	442	378	154	151	305
合計	売上高	107,369	124,086	61,267	64,592	125,859
	(販売数量)	1,034	1,241	605	611	1,216
	売上総利益	7,798	8,999	4,541	4,721	9,262



13

2012年3月期の見通し

- 2012年3月期業績見通しに関して
 - － 震災要因はプラス要因(復興需要)、マイナス要因(経済停滞による需要減)のいずれも織り込んでいない
 - － 復興に関する需要動向
 - ・ 震災被害地域
 - ・ その他地域
- 鉄鋼市況動向に関して
 - － 直近の東京製鐵の値下げの影響と今後のスクラップ動向
 - － 高炉メーカーのスタンスと電炉品との競合状況
 - － 輸入鋼材の見通し、中国・韓国メーカーの対日動向
- 今後の営業方針
 - － 「エリアの拡大」
4月に滋賀営業所を出店するなど関西エリアにおいて拠点整備
 - － 「シェアの向上」
営業人員の適材適所の配置転換を推進し拠点ごとの活性化をはかる



14